

内なる対話～「意味ある世間話」となるや、否や?!～

堂本 彰夫

③「生」の二重構造?の中で、「協働」を求める人達がいる!そこにあるものは?!

I: 先号(②)では、『社会』の歪み、不都合の中で、『正義(愛?)』と『諦観(無常?)』が浮遊している?!そして、そういう意味での『生』の二重構造?が出来上がっている?!そういうことを話したわけですが、しかし、そんな中でも、自らの思いと行動で、黙々と、明るく前向きに仕事・活動を続けている人も多いですね?!それが、救いでもあると…?!

D: 確かにね!生きる糧(生計を立てる、家族を守るということも含めて!)の仕事・活動ということであれば、それはそれで、ある意味当然ではありますが(「生きる」ということは、そういうことでもある?)、そういう中で、今の(これまでの?)社会はおかしい?こういう社会であって欲しい(然るべきである!)、そうしたことを思いながら、仕事や活動をしている人達がいる!

I: かなりの上から目線ではありますが、そういう人達が、現実の過酷な状況を、たとえ少しではあっても、良くしようとしている?!そこに、声援を送りたい!そういうことでもありますよね?!

D: もちろん、そういうことですが、実は、そこに、二通りの様相(顔?)が見える?!全体としては、それはそれでよいのですが、今の私からすれば、そのことに対して、かなり複雑な受け止め方とならざるを得ない?!一方で、そういうことも思い始めているのです!

I: え?多少驚きですが、一体、その「二通りの様相(顔?)」とは、どういうことですか?

D: 説明は難しいのですが、所謂社会的な仕事・活動において、その人達は、一体何(誰)のために、それを行っているのか?結局は、自分のためにやっている?収入・収益はもちろんですが、その人の見栄や自己顕示欲で行っている?そんな様相(顔?)もあるのではないかと?そういうことですか?!

I: 確か、そのことは、かの「ボランティア活動」の話にも通じる気がしますが、「自分のためにやっている」ということ自体は、ある意味正解であり、それは、むしろ歓迎されるべきことではありませんか?!「人のため」「社会(地域)のため」というようなことは、逆に、美辞麗句過ぎる?!

D: それは、自らの、「人間としてのプライド/自己の尊厳のなせる業」ということかと思いますが、しかし、私が思っていることは、そういうことではないのです!多くは、仕事や活動をやっていく中で、徐々にそうなっている?!しかも、本人は、そうなっていることに、ほとんど気がついていない?!ある意味、周囲に乗せられている(踊らされている?)?!そういうことにもなっている?!

I: それは、あたかも「タレント」や「スター(カリスマ?)」気取りになっているということでしょうが、それはそれで、良いのではないですか?犯罪とか、全くの私利私欲に走っていなければ…?!

D: もちろん、そうですね!それが、ある意味「生身の人間」の、偽らざる生でもありますからね?!だから、例えば、それが、かの「YouTube」の世界を創り上げてもいる?!そして、それが、もう一つの現実(リアリティ)を創り上げてもいる(そこでは、新たな「エンターテインメント」、そして、「ビジネス」の世界も創出されている!)?!そういうことでもあるのでしょうか?!

I: それが、まさに「目の前にある『社会』の歪み、不都合の中での、『正義(愛?)』と『諦観(無常?)』の浮遊」を超克しようとする「もう一つの生き方」、ある意味では、「一人の人間としてのプライド/自己の尊厳のなせる業」としての、新しい「社会参画」の姿なのかもしれませんね?!

D: 確かに、そういうことなのかもしれませんね?!そうでなければ、いつまで経っても、自分という「かけがえのない存在」をアピールできない?!しかし、それは、かなりの「玉石混淆」となる?!そして、「落とし穴」も生まれる?!だから、私としては、そんな中でも、自分を見失わず、あるべき社会の姿を求め、そこで必要な「協働」に向かって進もうとしている人達に、声援を送りたい、支援もしたい!そういうことなのです!もちろん、微々たる声援、支援ではありますが?! (つづく)